



直方南小学校だより

令和7年5月 30 日(金)

直方市立直方南小学校

がんばった運動会！

「できる、できる、必ずできる～勝っても負けても笑顔で終われる運動会にしよう」のスローガンのもと、運動会を開催しました。24日が雨天につき、日にちを変更しましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。子どもたちは、本番で保護者の皆さんにかっこいい姿を見せるため、本当に一生懸命頑張っていました。スローガンのとおり、一人ひとりが笑顔で終わることのできた運動会だったと思います。子どもたちは終了後、達成感に満ちたいい顔をしていました！

さて、運動会をとおして、すばらしい学びをした子の作文を紹介します。

「Hちゃん、頑張れ！」 6年生 I.Hさん

これは、私がかけっこの入場門に並んだ時に言われた言葉だ。

かけっこで共に走るのは赤組の仲谷さんと深見さんで、私だけが白組。二人は足が速いので、内心焦っていた。でも、本番ではかけっこ王になることを目標に頑張ることにした。

そして、いよいよかけこの時間。私は勝つための作戦を必死に考えていた。その時、二人から「ひなたちゃん、頑張れ！」と声をかけられたのだ。私は驚いた。それは、同じチーム（白組）じゃない二人からの声かけだったからだ。なんで、同じチームじゃないのに私のことを応援してくれたのだろう、今から競走する相手なのにこんなことを言ってくれるのだろう……。不思議だった。私は練習の時からずっと、一番になるために自分のことばかり考えていたのに……。



自分が恥ずかしく思えた。自分はいつも自分のことばかり考えていることに気づいたからだ。二人は、相手のことを応援し、また、自分のことより相手のことを優先している。私は、二人を見習わないといけないと思った。そして、クラスでそんな人が増えたらもっといいクラスになると思った。

私も二人のように、自分を変える誰かのきっかけとなるような存在になりたいと思った。

友達の「やさしさ」から、自らを振り返り「やさしさ」を実感しています。すばらしい感性ですね。その繋がり・広がり、まさしく、学校がめざすところです！